

九州大学海外派遣留学生 最終報告書		※ 帰国後15日以内に提出してください。 ※ 提出された情報は、海外留学HPに掲載します。(色のついた部分は掲載しません)
留学先大学名	香港大学 (国名: 香港)	
留学先学部名(またはプログラム名)	Faculty of Arts	
留学期間	2014年8月 ~ 2015年5月	
学部/学府・年次	経済 学部/学府	4年次~ 5年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	⑤・無 (期間: 半年)	
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	①. 4年次に留学したため ②. 単位が不足するため ③. 新卒で就職したため	
	④. その他(具体的に記入)	
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?		
進路の予定	①. 就職 (時期: 4月から / ()年 ()月から) ②. 大学院進学(大学 学府/研究科) ③. その他(具体的に:)	
前項で①と答えた方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)	2014年10月~(留学中にスタート) 留学中は留学生向けの海外就活イベントに参加(TOP CAREER ASEAN)、その後3月からプレエントリー、ES 準備等ウェブ上でできることは留学中に行った。	
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?	影響した(より海外志向が強くなった、行きたい業界の方向づけができた)	
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?	役に立った (現地でOB訪問や駐在員の方々のお話が聞けた、面接で留学経験のことを話した、英語力が向上した)	
1. 留学先大学について		
授業(カリキュラム等)の概要について	分類上は交換留学生用のプログラム。一部受講できないコースがあるほかは、正規の学生とほぼ同じ。 授業は、自分の所属する学部から50%以上とる必要がある。(例: 4つ授業を受けるときは、2つ以上自分の学部の授業から選択)。最大6つまで授業受講可能。 最初の2週間は履修登録期間。自由に行き来できる。しかし人気の授業はすぐに満席になる。登録スタートの前から受けたい授業を決めておき、登録開始時間になったらとりあえず登録する。希望の講義が満席で受けられないことも多々あるので、少し多めに興味のある授業をリストアップすること。期間内は何度でも変更可能。 中国語、広東語のクラスは交換留学生が多く、和気あいあいとしていたため、息抜きになっていた。	

<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>語学面:ライティングに関するヘルプデスクがある 勉強面:教授とはコンタクトをとりやすく、TA もいるのでいつでもわからないことを聞ける体制がある 精神面:特別なサポートがあるかわからない 住居・生活面:寮の手配や学校生活をサポートしてくれる課がある。いつでも相談できる。住環境はあまり期待しないほうが良い(4. 住居・生活環境の欄参照)。学校内に病院、歯科も完備。基本いつも予約がいっぱいで、希望する時になかなか治療を受けられないという問題もある。(自分の保険を使って学外の病院に行ったほうが良い。)</p>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>とても満足している。以下、香港大を選んで良かったと思う点。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① インターナショナルな雰囲気、優秀な学生 文字通り世界中から学生が集まっているため、世界中に友人ができる。一方で、日本人はとても少ない。大学ランキングでは香港大はアジア3位。優秀な学生が多く、みんな勉強に対する姿勢が真剣で良い刺激になる。 ② 充実した学習制度 授業の科目数が非常に多く、多種多様。日本の大学ではない面白い科目も多い。また図書館や勉強スペース等の環境も整っていて快適。 ③ 豊富な部活動、サークル活動、アクティビティ、イベント 運動系から文科系まで様々な活動ができる。サークルに入ることによって友人も増える。留学生もウェルカムな雰囲気。留学生向けのイベントも多い。いつも学内のどこかでイベントが開催されている(自分で開催することも可能)。 ④ 英語の上達 授業はすべて英語。リーディング、ライティングの課題も多いのでコツコツ取り組みれば確実に英語力は上がる。また香港大の学生は英語ネイティブではないが、みんな使いこなしており、その姿を見て自分も頑張らねばと思える。一方で留学生はネイティブスピーカー(米国・英国出身者)が多く、友人になれば日ごろから話す機会を作れる。 ⑤ 中国語・広東語 中国語を鍛えるのにも良い環境。中国語の授業も豊富。広東語の授業も開講されている。日本語を学びたい学生と language exchange も可能。 ⑥ ロケーション 香港島の中心部から地下鉄で5分(さらに駅直結)。どこに行くのも便利な場所にある。 ⑦ スターバックス(おまけ) 香港大のスタバは全品3割引き! コーヒー中毒になる。

<p>同じ大学への留学を希望する人 たちへのアドバイス</p>	<p>① 受講するコースについて 自分の専門にこだわらず、様々な授業をとってみると面白い。また香港大ではいわゆる「楽な授業」はあまりない。どの授業もレポート、プレゼン等の課題が多く、期末前は時間に追われる。とる授業数はしっかり考えること。(私は各学期4つとっていた。それでもかなり最後の1か月は課題が重なり大変。)</p> <p>② 留学の楽しみ方 留学の時間は限られている。できること、気になること、興味を持ったこと、すべてに挑戦しよう。 香港大学は、学校が多数のアクティビティを用意してくれるので、積極的に参加すると友人の輪が広がっていく。</p> <p>③ 困ったら 友人を頼ろう。わからないことはその都度誰かに聞いて解決していくこと。 大学内の相談センター(CEDARS 等)も活用できる。</p>
-------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>2. 事前手続き(ビザ申請など)</p>	
<p>ビザの種類</p>	<p>学生ビザ</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>香港大学</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>香港大学から送られてくるビザの申請方法に従って手続き それほど難しくない</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>一か月程度</p>
<p>その他必要な事前手続き</p>	<p>香港に入国するとき、ビザを見せて JOURNEY COMPLETED のスタンプをもらう必要がある。 最初の入国審査の際、空港で並ぶ列をきちんと確認すること。 もしその時に失敗すると、一定期間内に中国本土もしくはマカオに行き、もう一度正しく入国手続きをしなければならなくなる。</p>

3. 日常生活	
日常生活の概要、感想	<p>とても楽しかった。毎日が充実していて、あっという間に時間が過ぎていった。以下、参考までに、10か月間の過ごし方。</p> <p>① 留学生仲間と遊ぶ 香港は狭いといわれるが意外に遊ぶ場所はたくさんある。ハイキング、サイクリング、ショッピング、演劇鑑賞等々、基本的に学外で遊んでいた。夜遅くまで飲むことも。</p> <p>② リーディングウィーク中は海外旅行 各学期に一週間のリーディングウィークという名の休みがある。留学生はだいたいアジアを旅行する。中国本土に行くのも面白い。</p> <p>③ 香港箱崎会(九大OB)や出身高校のOB会、県人会に参加し社会人と交流 香港を選んで良かったと特に思えるのはこの点。様々なつてを使って、多くの社会人の方と会って話を聞いたり、企業訪問もさせてもらったりした。就活にもつながるし、自分の将来像を考える上で非常に有意義。社会人との距離が日本にいるときよりもかなり近いのでなんでも聞ける。</p>
生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)	<p>生活費計 約13万円/月</p> <p>(生活費内訳)住居費: 3~4万円、光熱水料: 0円、通学費: 1,500円、食費: 7~10万円(ほぼ外食だったため高額になった)、電話代: 1,500円、インターネット代: 0円、書籍代: ほぼ0円 その他:(具体的に)</p> <p>学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) 0円 (徴収された費用の名目を具体的に:)</p>
日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)	<p>PC(絶対必要。学校にも持っていくため、持ち運びが便利な軽いものがおすすめ。)、変圧器(現地でも安く買える)、『地球の歩き方』。</p> <p>化粧品、食品、薬、日用品等、基本的に香港では日本の製品はなんでも買えると考えてよい。</p>
これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	<p>治安はかなり良い。</p> <p>学生デモが激しかったところでさえ、住んでいる身としては何も危険は感じなかった。ただ、人の多い暗い場所(バーやクラブが集まる場所)ではスリも多く犯罪にあう確率が高まる。貴重品は常に身につけること。(カバンを置いたままどこかへ行かない)一度紛失したものは返ってこないと考える。</p> <p>日常生活は、ほとんど問題ない。街中でも英語が通じるし、交通機関も発達しており不便はない。日本にいるのとあまり変わらない感覚。</p>
お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	<p>現地で銀行口座開設(学期初めは非常に混み合うので早めに準備) →香港では24時間手数料なしでATMでお金をおろせ、とても便利 寮費の支払いに現地の口座があったほうが便利</p> <p>留学先での生活費は、日本から香港の口座に海外送金してもらった(手数料高い)。</p> <p>クレジットカードも多用。</p>

4. 住居、生活環境		
住居の種類(○印をつける)	・ <input checked="" type="radio"/> 寮 ・ホームステイ ・民間アパート ・その他()	
住所／電話番号	Chi Sun College, Jockey Club Student Village III The University of Hong Kong, 9 Lung Wah Street, Kennedy town, Hong Kong	
費用(月額)	3万～4万円(自分でアパートを借りた場合はさらに高額)	
どのようにして見つけたか	香港大学から送られてきた寮の申し込みフォームを見て、一つ一つインターネットで調べ、応募フォームに沿って応募。 その時に、香港大の留学経験者に寮に関するアドバイスを求めた(一番参考になった)。	
次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。	<p>推薦できる</p> <p>〈利点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい(築3年程度) ・ホールに比べて自由度が高い ・地下鉄駅より徒歩10分以内 ・イベント、アクティビティが多い ・様々な学生が混ざっている 	<p>〈欠点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学まで徒歩20分(シャトルバス or 地下鉄あり) ・かなり急な坂の上にある
留學生活を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報	<p>香港では住むところを見つけるのが一番難しい。寮それぞれに特色があり、条件が異なるので、きちんと情報を集めてから寮の応募は行うこと。(第一希望～第三希望まで選ぶところがあると思うが、わからなくても何かきちんと記入する。自分の希望をしっかりと書いたほうが寮に入りやすいと思う。)最初は寮に入れない場合もよくある。その時は大学のサポート課と何度も交渉すること。学期の途中から入寮できるケースも非常に多い。学期初めに民間のアパートで契約する際に、長期契約を結ばない方が良くもしい。民間アパートの家賃はとて高く、なかなか探しにくいのが現状。(学校が借り上げているアパートは比較的安い。) 2 学期目から寮を変える留学生も多い(希望制)。</p> <p>香港は外食産業が発達している。値段もそれほど高くない。 スーパーもコンビニも至るところにあるので非常に便利。</p>	
5. 準備段階や留學中に役に立ったウェブサイト		
サイト名	URL	コメント
Open Rice 香港ポスト Citybus NWFB MTR Mobile	http://www.hkpost.com.hk/index.php	香港のレストランを網羅したスマホのアプリ 香港における日本に関する身近なニュースをキャッチできる 香港市内バスのスマホアプリ(ルート等探せる) 香港地下鉄のスマホアプリ

6. その他の特記事項

留学中、インターンを行う学生も多数いた。勉強だけではなく、ビジネスにも触れられるのは香港の魅力。